

出場する選手の皆さん。競技の内容は異なっても、緊張感をプラスのエネルギーに変え、全力を尽くして来てください。さて、日本陸上界に、400メートルハードルの日本記録保持者として、為末大（ためすえ だい）という選手がいました。

彼は、次の言葉を残しています。

『 成功者の言葉しか 世の中には残らないから 「やればできる」が格言となる。

夢はかなわないかもしれない。

叶えるための努力は、無駄に終わるかもしれない。

でも、何かに向かっていたその日々を

君は確かに輝いて生きていたのではないか。

それが 報酬だとは思わないか 』

報酬とは、「自分に満足をもたらしてくれる」という意味です。

陸上部は、先日の新人大会で男女総合4位という、素晴らしい成績をおさめてくれました。温かい応援が素敵でした。

剣道部は、

苦しい試合を乗り越え、県大会への切符を手にしたこと。

蒸し暑い剣道場において、追い込みなどの練習に一生懸命に励んだこと。

新体操部は、

夜間練習など、遅くまで練習に取り組んできたこと。

チームワークを高めるために、お互いに思いを語り合ったこと。

そして、駅伝部においては、

夏の暑さの中、多くの汗をかきながらも、早朝から走ったこと。

呼吸が苦しい中、ベストタイムを目指して、もがきながらも必死で両腕を振ったこと。

とめたくなる足を止めず、ただひたすら前に出したこと。

1本のたすきにかける熱い思いを共有したこと。

それぞれが、目標を達成するために費やしてきた日々。為末選手の言葉を借りれば、こうした時間は、自らの成長につながり、輝いて生きていたことの証とも言えます。今回の大会では、自分の心や体に苦しいことやつらいことが、襲ってくるかも知れません。しかし、そうした試練を乗り越えるために、粘り強く競争や競技を行ったり、チームとして高めてきた絆の力を発揮したりすることで、その一日を一層輝いて生きられるのではないかと思うのです。

結びに、誰もが経験できない「県大会」という大きな舞台に立てることに感謝と喜びをもち、失敗を恐れない勇気ある挑戦を期待しています。